

## 「合格」を受験の 前提条件にする



### 小テスト受験のための 小テストとは?

manabaの小テスト機能で特長的なのは、教員が指定した小テストで一定のスコアを取ってからはじめて、次の小テストを受験できるという前提条件の設定が可能なこと。天野先生はこれを応用して、小テスト受験用のパスワードを設けているといいます。

「『環境評価システム』では毎回、講義で学んだ内容について、自動採点の小テストを出題しているんです。受験資格は、授業内に発表したパスワードの小テストで正解して合格すること。出席確認の意味を持たせています」。

### 場面や用途に合わせて 条件を選択

ただ、中にはパスワード解答時に入力を誤る学生もいるため、併せて予備パスワー

ドの小テストも出題。つまり毎授業、3つの小テストが公開されることになります。

「最初のパスワードを間違っても、予備パスワードが正解すれば、本番のテストを受けられる訳です。複数の小テストを設定した上で、どちらか片方に合格すればOKとするか、両方に合格しないと次へ進めないというようにするか。前提条件の選択もできるmanabaの特長を利用しているんですね」。

### 合格ラインを指定して 段階的学習へ

そもそも、段階的な学習を促すことを目的に開発された前提条件のオプション。今後は先生独自の応用的な活用だけでなく、本来の目的でも利用していきたいといいます。

「順を追って教える授業の場合、最初は易しい問題から解かせて、合格したら少し難

しい問題へ進ませるというような使い方が可能ですよね。合格ラインもコントロールできるので、同じテストで合格点を複数設定して、取れた点数によって次に進む問題を指定するという仕組みにしてもいいでしょう。この機能はもっと、活用できそうですね」。さらに来期からは、前述のパスワードを小テスト(ドリル)で出題することも検討中とか。複数回、解答できるドリル機能なら、予備パスワードは必要ありません。小テスト(自動採点)の前提条件に、小テスト(ドリル)を設定するという合わせ技が可能なシステムを上手く生かした応用スタイルです。

### アンケートの回答率・回収率を 上げる

次々、新たな機能の活用を試みている天野先生。アンケート機能や、出席カード(アンケート)もすでに使用しているとのこと。

タイトル	状態	受付開始日時	受付終了日時
自動採点 第12週のパスワード	受付終了 未提出	2014-12-16 14:40	2014-12-23 14:40
自動採点 第12週のパスワード (予備)	受付終了 未提出	2014-12-16 14:40	2014-12-23 14:40
自動採点 第12週の小テスト ●受験条件を満たしていません。	受付終了 未提出	2014-12-16 14:40	2014-12-23 14:40
自動採点 第13週のパスワード	受付終了 未提出	2014-12-23 14:40	2015-01-06 14:40
自動採点 第13週のパスワード (予備)	受付終了 未提出	2014-12-23 14:40	2015-01-06 14:40
1 自動採点 第13週の小テスト	受付終了	2014-12-23 14:40	2015-01-06 14:40

インタラクティブシート

設問数 10 経過時間 00:00:32

このアンケートは、教員と学生間で授業改善のための意思疎通を図るとともに、学生の皆さんが学習態度を振り返るツールです。成績評価等とは無関係で、皆さんとの意見交換を通じて、授業を改善するために活用されます。以下の項目のあてはまるものにチェックをつけて下さい。

Q1. この授業をどの程度欠席しましたか。

1.  無欠席  
2.  1回欠席  
3.  2回欠席  
4.  3回欠席  
5.  4回以上欠席

2 Q2. この授業の予習復習や準備、課題のために、1回あたりどの程度時間をかけて

1 環境評価システムの小テスト一覧画面です。自動採点小テストを用いて学生に出題しています。小テストには前提条件を設定しているため、学生は受験条件を満たしてから次の小テストを提出します。

2 環境評価システムのアンケート提出状況画面です。セメスターの中間頃に学生から意見を求めるインタラクティブシートでは、学生自身の学習態度の振り返りと授業改善に活かしています。

「インタラクティブシートを公開する際、アンケート機能も使ったんですが、紙ベースで配布していた時より回収率や、自由回答欄の回答率が高くなりましたね。最近の学生はスマホやパソコンがサクサク使えるので、手書きより慣れているのかもしれない」。

### 質問を投げかけて授業を リフレッシュ

出席カード(アンケート)については、「リアルタイムで学生の意見が入って来ますし、その場で公開できるのもいいですね。大講義の場合、一方的な授業になりがち。途中でコミュニケーションを取って、リフレッシュするという効果もあるんですよ」と、かなり注目している様子。質問内容は、受講生の意識調査や用語についての認知度を測るものがほとんどだといいます。複数年、同様のアンケートを行うことで、用語の認知度や意識の変化も見え、授業に生かせるのだとか。



「回答は強制していませんが、半数以上の受講生が答えてくれますね。匿名提出にしているのが、気軽に参加できるのでしょう」。

出席機能の活用についても、今後新たな展望が。授業中、その場で思いついた質問に答えてもらうような時には、ワンクリックで番号を選ぶ出席機能(クエスチョン)、授業前からあらかじめ質問を用意しているような場合には出席機能(アンケート)というように使い分けていく予定なのだとか。来期以降、活用幅がさらに広がりそうです。

## 授業規模

大規模

中規模

小規模

## 授業形態

講義

演習・実習

語学

## manaba機能

小テスト

アンケート

レポート

プロジェクト

成績(採点結果)

掲示板

コンテンツ

コースニュース

出席